

平成16年度漁期(H16.8～H17.7)のヨコワ(クロマグロ幼魚)の漁獲量予測.....約50トン/前年(10トン)・平年(24トン)

本県でのヨコワの来遊条件

1 資源

- (1) **今年の太平洋発生群(沖縄近海で4～6月に生まれる“春生まれ群”)の資源状況**
クロマグロの漁獲が例年になく好調であったことから、沖縄近海での春生まれ群の資源水準が高い。
- (2) **今年の日本海発生群(島根沖合で7～9月に生まれる“夏生まれ群”)の資源状況**
クロマグロの漁獲が前年同様、好調であったことから、島根沖合での夏生まれ群の資源水準が高い。
- (3) **前年生まれの2歳魚(太平洋・日本海発生群の両方)の資源状況**
前年生まれのヨコワは、太平洋・日本海の両海域とも高い資源水準。

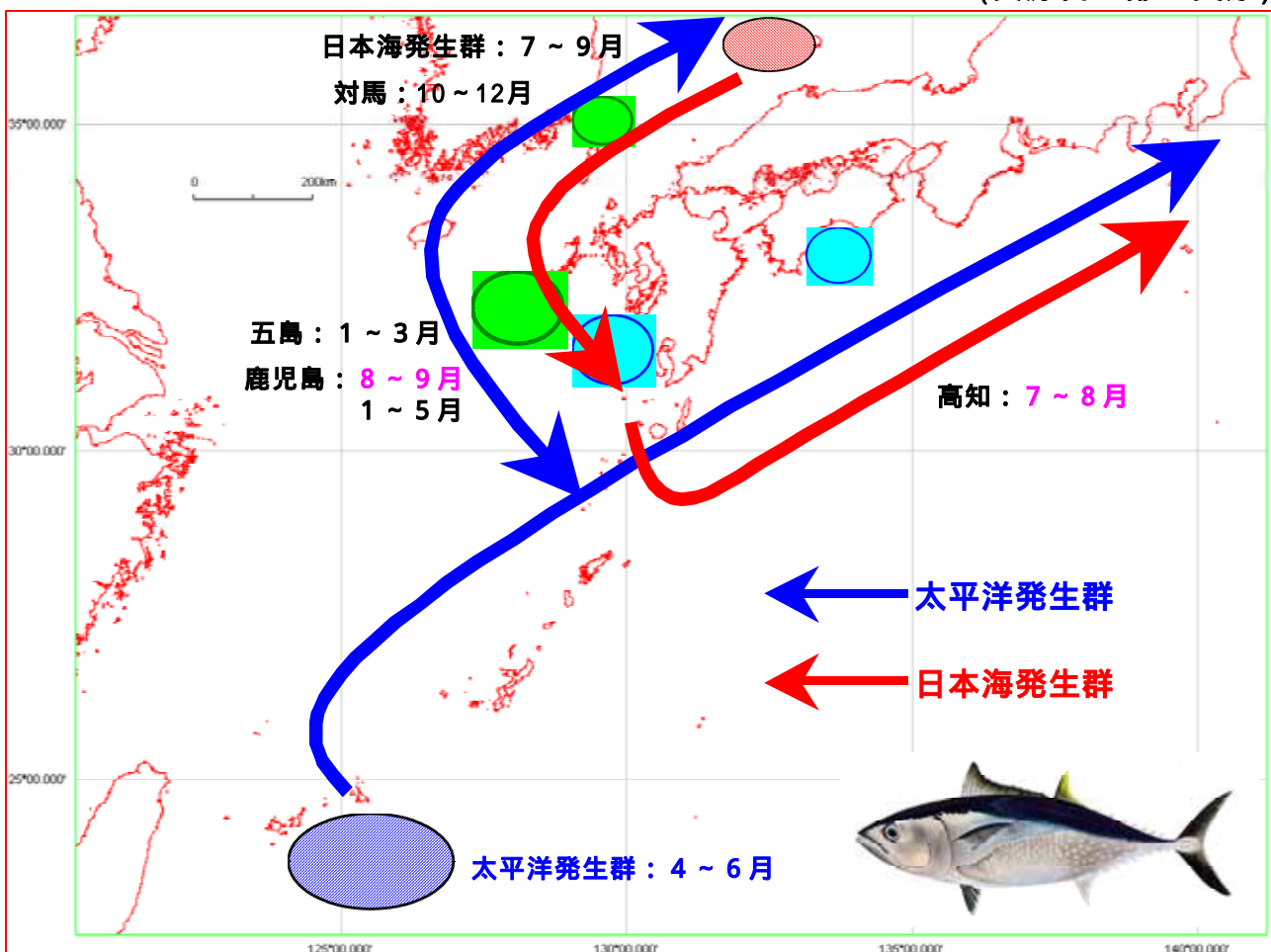
2 水温

- (1) **来年4月の甑海域・竹島(枕崎沖合)海域・黒潮流域の水温**
本県海域での曳縄によるヨコワの盛漁期である4月の甑～枕崎沖合の水温の状況が良ければ、好漁場が形成される。

3 予測

資源状況が良いことから、今後の水温の状況にもよるが、平成16年度漁期の漁獲量は平年の約2倍の50トン程度が期待できそうである。

(資源管理部：奥原)



クロマグロの産卵海域・漁場・回遊経路図